

# 哲學研究

第三十三卷 第九冊

第三五百四十四號

昭和二十一年十一月十五日發行

美の批判……………文學博士 植田壽藏

起信の課題……………文學士 久松眞一

アリストテレスに於ける實踐の構造(承前)……………文學士 安藤孝行

— 靈魂諸部分の聯關 —

京都市帝國大學文學部

京都哲學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
  - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年三十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	澤瀉久敬
文學士	重澤俊郎
文學博士	島芳夫
文學士	關原太郎
文學博士	西谷啓治
文學士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學士	松村克己
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學士	井島勉

又は強要の原理である。併し強制又は強要の物理的と心理的といふ様式の別は認めてゐる。そして之に對する解決は結局強要の強度の程度的な差異に歸してゐる。隨てそこでは原理的絶對的な解決は與へられてゐない譯である。E. B. S. 125 a 1-34 参照。

アリストテレースに於ける實踐の構造 (承前)

前 號 目 次

倫理學の現代的使命……文學博士 島 芳 夫	確 實 性……文學士 長 澤 信 壽
アリストテレースに於ける實踐の構造(承前)……	—要アウクスティウス研究—その一—
—亞 弔 諾 部 分 の 聯 關—	文學士 安 藤 孝 行

# 會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房  
内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ  
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會(等編輯事務以外ノ一切ノ事務  
ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」  
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス  
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌  
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會  
文學部 内

## 註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する  
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り  
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券十錢  
御送付下され度候

昭和二十一年十一月十日印刷納本  
昭和二十一年十一月十五日發行

編輯人 京都哲學會

右代表者

發行兼印刷人 八坂淺太郎  
京都府田中西浦町四〇

印刷所(京都七志)弘文堂印刷部  
京都市田中西浦町四〇

配給元 日本出版配給株式會社  
東京都田中西浦町二ノ九

發行所 弘文堂書房  
京都府田中西浦町四〇

定 價	冊 數	一 冊	郵 税
六冊(前金)	金三十圓	金十五錢	
一冊(前金)	金六十圓	金九十錢	
七冊(前金)	金六十圓	金一圓全錢	

(誌代の變更による寄費の過不足は  
半年又は一年毎に精算いたします)